

枚方教育

No. 1848
2020. 11. 20

枚方教職員組合
枚方市西禁野一丁目三
Tel 八四八・三三〇〇
FAX 八四八・三〇五二

枚方教組、コロナ第3波に備えた緊急要望書を提出

子どもの学習と教育活動を優先し、業務の見直しを 教職員の命と健康を守り、学校の機能維持を第一に

冬の到来を前にコロナ感染が急速に拡大する中で、学校での授業参観や研修・公開授業への参加などをはじめとした取り組みに、現場から強い懸念の声が寄せられています。枚方教組は、感染拡大第3波にむけて、学校で今何を優先して、どんなことに取り組むべきかについて、現場の切実な声や要求にもとづき、19日に緊急要望書を市教委に提出しました。

第3波の感染拡大、 学校も渦中に

11月に入り、コロナ第3波の感染拡大が起きており、吉村知事がステージ3に入っていることを示唆しています。全国的にも過去最高の感染者数を記録する都道府県が増え、大阪でも200人以上の感染者が続き、重症者の病床使用率が35%を超えることが現実となつていきます。

枚方でも、保護者、児童生徒の感染が出ており、府下的にも全国的にも学校でクラスターが発生する事例も起きてきています。

世界的にも、感染拡大に歯止めがかからず、再びロックダウンに踏み切らざるを得なくなる事態が広がっています。

今、感染拡大を抑えながら、子どもたちの学びと成長を保障する点から、教育委員会、各学校においても、様々なケースに備える対応が求められています。

今、学校に何より 求められていること

文科省、大阪府教育庁は、一律の休校措置を否定して、学校の教育活動を継続しながら、感染拡大の中で対応していく方針を明らかにしています。

この方針のもとでは、子どもの学習、教育活動の確保を優先しながらも、いままでの学校の業務、教育活動に優先順位をつけながら、大胆に見直し、削減をしていくことが求められます。

また、子どもの学習・教育活動を確保するうえで、教職員の感染防止、教職員の家族も含めた命と健康を守りながら、学校機能を維持できる対応が欠かせません。

9月の収束時の方針のまま本当に 大丈夫なのか？

とりわけ、保護者会や参観について、保護者から不安の声が寄せられており、「コロナが不安だが、子どもに悪いから行かない」という悩みも聞かれます。



枚方市教委への緊急要望書の主な要望事項

1. 教職員、学校現場の声を反映した対応を行うこと。学校現場に対して、事前の説明や理解を十分に図る取り組みを行うこと。
2. 学習や教育活動の保障の優先を前提に、参観や保護者会などの保護者参加行事、対外的行事、出張や研究授業・公開授業や研修などの学校にかかわる取り組みを大幅に軽減、見送りができるように、市教委として方針を明確にすること。
3. 「災害や流行性疾患による学級閉鎖等により授業時数が標準を下回っても法令違反ではない」点を明らかにして、現場で判断して弾力的に対応できることを各学校に示すこと。
4. 養護教諭の負担軽減、十分な保健室対応ができるように、養護教諭のサポート員を市教委の責任として緊急に配置すること。就学時健診については、三密を避けられるよう、市として責任をもって人員を配置し、保健室使用も含めて、養護教諭の負担とならないようにすること。
5. 子どもたちの学習・教育活動、感染防止対策に教職員が専念できるように、チャレンジテスト、GTEC など本来の教育課程ではない取り組みは中止・不参加とすること。評価育成システムや、授業アンケート、研修報告書など、学習・教育活動、感染防止活動などに直接関係のない業務を、大胆に中止を含めた対応をすること。
6. 消毒作業・トイレ清掃業務を充実させ、現場が学習・教育活動に専念できるようにすること。
7. 市教委の責任で、教職員全体を対象に、PCR検査などを定期的実施して、感染源を早期に発見し、拡大を防ぐ手立てをとること。
8. 長期休業期間中に、学校閉庁日を設定するとともに、市費・府費・非常勤職員を問わず、在宅勤務などが可能になるように対応すること。通勤方法について、公共交通機関以外についても弾力的に利用できるようにすること。
9. 今後とも必要に応じて、感染対策や現場の負担軽減策について組合との協議を行うこと。

参観などの保護者参加行事、研究発表、公開授業などへの教職員の参加、などについては、市教委の学校再開マニュアルの中で、9月25日時点の、感染者がきわめて減少していた時期に出されています。しかし、感染の急速な拡大期であるいま、本当にこのままの方針で大丈夫なのか、教職員のみならず、保護者の間に不安が広まるのは当然です。

一緒に 職場の声を 上げていきましょう

枚方教組は、左表のように、緊急に市教委に要望書を提出して対応を求めるとともに、今後も協議を行いながら取り組みを進めることを求めました。

当局に対応を求めていくためにも、力を合わせましょう。枚方教組は、職場の声を集め重要な情報を教職員の皆さんに届けていきたいと思っております。枚方教組に加入して、一緒にこれらの取り組みを進めていきましょう。

